61.	山中学	古田世+	<u></u>	月日≑並∕⊤	: F =	╥╬20左	弁 /つ	010年度\	1四***	±N □	————————————————————————————————————			
		専門学村	父	開講年	-	平成30年	芟 (2	018年度)	授業	科日 :	英語Ⅱ			
科目基礎	凹有報	I = .						type ()		An. 7 3:11	-			
科目番号 0165								科目区分		一般 / 必修				
授業形態 授業								単位の種別と単位		学修単位: 2				
			全システムデザイン工学専攻 					対象学年		専2 				
開設期前期								週時間数 2						
教科書/教	材				on i	n English, Re	ading	g Gym						
担当教員		岡崎	5 久美子	-										
到達目標														
		つけること	とを目標	として、英	吾の	速読やプレゼン	テー:	ションを含む総合	読解演習を	を行う。				
ルーブリ	<u> </u>													
			理想的な到	ベルの目安		標準的な到達レベルの目		安 未到達し		ベルの目安				
評価項目1				英文を読んで概要を把握し、それ に対する自分の意見を表現するこ とができる。				英文を読んで概要を伝えることがで	、それ	英文を読んで概要を把握し、それ を伝えることができない。				
学科の至	引達目標	頭目と	の関係											
JABEE C2	2 国際的(こ通用する	3コミュ:	ニケーション	ン基	礎能力								
教育方法	去等													
概要	· ·	英語	の運用	能力をつける	3こc	とを目標として	、英語	吾の速読やプレゼン	 ンテーシ≣	ョンを含む	じ総合読解	寅習を行う。		
授業の進め	か方・方法							ジンテーションを行う内容と意義。 なだことを振り返						
注意点		本科	目は準	学士課程の発	語	科目と外国語IV	/A • V	A、および専攻科	課程の英語				をして授業に	
授業計画	 §	一川端で	ı∟⊂∘ 1	又未以クトじて	ン市企作	死して光暗の流	治牛リノ	トレーニングを行	ارد.					
	Ī	週	授	 業内容					週ごとの	到達目標				
前期		1週			の選:	択・ガイダンス	ζ.		学習の進め方が理解できる。					
		2週		Engineered Sakura, 速読1					英文を読んで概要を把握することができる。			 る。		
		3週		Engineered Sakura, 速読2					英文を読んで概要を把握することができる。					
		4週		What Is Information, 速読3					英文を読んで概要を把握することができる。					
	1stQ	5週		What Is Information, 速読4					英文を読んで概要を把握することができる。					
		6週		Leonardo da Vinci's Perspective, 速										
		7週		Leonardo da Vinci's Perspective, 速										
		8週		Communication through Occupation, 速										
		9週		Communication through Occupation, 速										
		10週		英語プレゼンテーション演習、速読9				英文の概要等を説明することができる。				٥.		
		11週		英語プレゼンテーション演習、速読10					英文の概要等を説明することができる。					
		12週		英語プレゼンテーション演習、速読11				英文の概要等を説明することができる。						
	2ndQ	13週		英語プレゼンテーション演習、速読1				英文の概要等を説明することができる。						
		14週		英語プレゼンテーション演習、速読13				英文の概要等を説明することができる。						
		15週		前期期末試験					ノヘンペーン「はんご	~ \7 CD/L	,,, 000	<i>~</i>		
		16週		前期期末試験の復習					前期期末	試験の内:	 容を振り返	 る。		
エデ ル	 アカ		-	習内容と					אורגינהיי מ	vr3人マンド 3		. • •		
分類	- / / / / / C		ムの子 対野	学習内容		<u>単口信</u> 学習内容の到	连口塔	<u></u>				到達レベル	, 授業调	
基礎的能力		<u> </u>) ± J		英語運用能 力の基礎固	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。								
						日常生活や身近な話題に関して、自然現を用いて英語で話すことができる。			0			3		
	カー人文科学	・社会	語	力の基础		説明や物語などの文章を毎分100語 ように音読ができる。			程度の速度で聞き手に伝わ			3		
	11-13-			め		平易な英語で書かれた文章を読み、 を読み取ることができる。						4		
						日常生活や身近な話題に関して、自 100語程度のまとまりのある文章を						4		
									とする姿勢をもち、実際の場 と図ることができる。 4			4		
評価割合		- 11-0				1		T	T.:		1 .	1		
		試験		発表		相互評価		態度		トフォリオ その他		合計		
		70		30		0		0	0	-			100	
		70 0		30		0		0	0	0			0	
	131 31 31307 3			0		10		0	0					
専門的能力分野横断的		<u>0</u> 0		0		0		0	0		-	0		